

みずほCustomer Desk Report 2017/07/18 号(As of 2017/07/17)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	112.42	1.1474	129.01	0.9639	1.3110	0.7824
SYD-NY High	112.87	1.1487	129.46	0.9657	1.3111	0.7840
SYD-NY Low	112.33	1.1435	128.76	0.9595	1.3048	0.7792
NY 5:00 PM	112.64	1.1478	129.28	0.9625	1.3055	0.7796
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.505/7.905		Δ25RR	1.090	Yen Call Over	
NY DOW	21,629.72	▲ 8.02	債券市場	日本2年債	-	-
NASDAQ	6,314.43	1.97		日本10年債	-	-
S&P	2,459.14	▲ 0.13		米国2年債	1.3557	0.0bp
日経平均	-	-		米国5年債	1.8594	▲0.7bp
TOPIX	-	-		米国10年債	2.3141	▲1.8bp
シカゴ日経先物	20,060.00	▲5.00	為替市況	独10年債	0.5810	▲1.6bp
ロンドンFT	7,404.13	25.74		英10年債	1.2700	▲4.0bp
DAX	12,587.16	▲44.56		豪10年債	2.7310	1.4bp
ハンセン指数	26,470.58	81.35		USD/CNH	6.7638	▲ 0.0022
上海総合	3,176.47	▲ 45.95		ドルインデックス	95.13	▲0.03
USDJPY 3M Vol	8.24	0.02%	商品市況	CRB指数	175.879	▲0.41
USDJPY 6M Vol	8.62	▲0.02%		NY金	1,233.70	6.20
EURJPY 3M Vol	9.19	0.13%		WTI	46.02	▲0.52
EURJPY 6M Vol	9.53	0.07%		Dubai Spot	47.54	0.19

アジア	アジア時間のドル円は112.42レベルでオープン。東京休日となる中、じり高の展開となり一時112.77まで上昇する局面も見られた。発表された中国4-6月期GDP(前年比)は市場予想を上回る+6.9%となり、中国政府が掲げる2017年の通年目標である+6.5%前後を上回る結果となったものの、為替相場への影響は限定的であった。その後は狭い価値幅での揉み合いに終始し、結局112.70レベルでアジア時間の取引を終えた。(香港 14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.70レベルでオープン。東京祝日となったこともあり、閑散ムード。先週のインソ議長のパト派議会証言を境に継続するドル円ロングポジションの解消がこの日も進み、112.35まで値を下げ、112.40レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3081でオープン。ロンドン英財務相がEU離脱に伴う「手切れ金」について「英国は常に義務を履行する。正しく計算され、監査され、当然支払うべきだとなった金額ならいくらであっても対応する」と述べたことで、将来的なユーロ買いポンド売りフローの恩恵が浮上。ポンドは対ドルでも1.3059まで値を下げ、1.3061レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1448レベルでオープン。ユーロ圏6月CPIで食品・エネルギーを除くコア指数が5月の前年比+1.0%から前年比+1.1%に加速したことからECBテーラリング観測が意識される展開。1.1470まで上昇し、1.1463レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.40レベルでオープン。朝方発表された米7月ニューヨーク連銀製造業景気指数は、前回比・予想予想比共に下回る結果となったが、相場の影響は限定的。その後、NYオープン前に跳ね返された112.51を再度試す展開となったが、ドル売りに阻まれ突破できなかったことから、安値112.33まで反落。その後はユーロドルの買いにユーロ円が上昇し、これに連れる形でドル円がこれまで押さえられていた112.51を明確に突破すると、ストップを巻き込みながら、112.87まで急騰。しかし、その後は材料難のなか、米金利低下を背景にじり安の展開となり、112.64レベルでNYクローズ。一方、ユーロドルは1.1463レベルでNYオープン。新規材料に欠ける中、ユーロドルの買いが強まり、高値1.1487まで上昇。その後、ドル円急騰をきっかけにドル買いの流れが強まったことから、1.1464まで下落したが、終盤は米金利低下を背景とするドル売りにサポートされ、1.1484まで回復し、1.1478レベルでNYクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・森谷

[昨日の指標等]

Date	Time		Event		結果	予想
7月17日	11:00	中	GDP(前年比)	2Q	6.9%	6.8%
	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	6月	11.0%/8.6%/7.6%	10.6%/8.5%/6.5%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)	6月	0.0%/1.3%	0.0%/1.3%
	21:30	米	ニューヨーク連銀製造業指数	7月	9.8	15.0

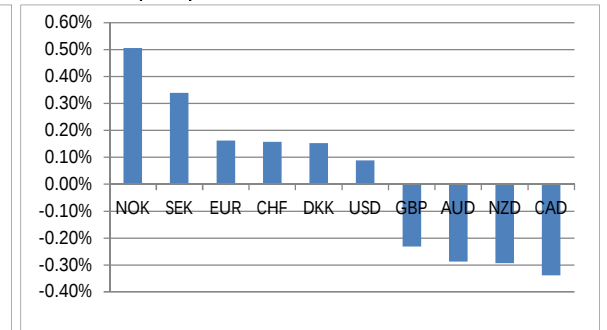
[本日の予定]

Date	Time		Event		予想	前回
7月18日	10:30	豪	RBA議事要旨(7/4開催分)	-	-	-
	17:30	英	CPI(前月比/前年比)	6月	0.2%/2.9%	0.3%/2.9%
	17:30	英	PPI(前月比/前年比)	6月	0.1%/3.4%	0.1%/3.6%
	18:00	独	ZEW現状/期待	7月	88.0/18.0	88.0/18.6
	18:00	欧	ZEW調査(期待)	7月	-	37.7

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10-112.90	1.1430-1.1490	128.60-129.60

[マーケットインプレッション]

先週末金曜日に下落したドル円は、本邦休日であった昨日月曜日は112円台で方向感無く推移した。本日のドル円は上値重く推移することを予想。本日は特段大きな材料に欠けるが、米金利上昇という展開が望み薄の中では、ドル円の上値は抑えられよう。昨日、ユーロの買いに連れたユーロ円上昇からドル円も上昇する場面が見られたが、今週は注目のECBを控えており、本日1.15丁度を上抜けるのは難しそうで、ドル円の上値も限られるか。